**読書ノート　その23－余興**

2018年11月23日　小林

**朴裕河(パク・ユハ)「帝国の慰安婦」(朝日新聞、2014年11月)**

* 本書は徴用工問題のニュースの関連で知ったもの。著者(写真)は1957年ソウル生まれ、韓国の高校卒業の後、慶大卒、早大院日文博士、現在、世宗大教授。本書のため韓国検察庁から名誉棄損罪で訴追、一審無罪、二審で1万ウォンの罰金刑、現在最高裁で審理中。元慰安婦から賠償請求訴訟も提起され一審で9千万ウォンの賠償命令、現在二審で係争中。



* 本書はハングル版は2013年8月韓国で出版、日本語版は2014年11月出版、石橋湛山早稲田ｼﾞｬｰﾅﾘｽﾞﾑ大賞受賞。本書のほか「反日ナショナリズムを超えて」(日韓交流基金賞)、「和解のために－教科書・慰安婦・靖国・独島」(大佛次郎賞)、その他日本文学関係の著書もあり。
* 本書は、朝鮮人慰安婦の実態を証言集等の資料にもとづき解明したものだが、韓国における慰安婦についての「常識」をほぼ全否定するため、上記のような訴訟が起こされた。本書の真価は韓国人の歴史認識について、誤った歴史認識で歴史を歪曲しているのは韓国人のほうだと言っていること。以下にP.161までの要旨を記します(全324頁)。
* 朝鮮人慰安婦の問題を一番最初に世に知らしめたのは、日本人・千田夏光(かこう)という毎日新聞の記者。1973年「従軍慰安婦”声なき女”八万人の告発」を出版、千田はある写真の謎を調べていくうちに慰安婦の存在を知り、元慰安婦等を探し出しインタビューもしてこの本を執筆し日本軍のもう一つの暗部を告発した。韓国では1990年1月に始まった新聞の連載記事でようやく慰安婦問題が知られるようになった。
* 韓国人の常識としての慰安婦とは、日本軍に強制連行された性奴隷、年端も行かぬ20万人の少女たちを日本軍人が無理やり連行して慰安所で強制的に性行為をさせた。(だから、「少女像」)
* したがって、ポイントは、(1) 日本軍人が強制連行したのか？(2) 20万人の少女たちなのか？(3)奴隷状態にあったのか－無報酬で暴力による強制労働？
* (1) 日本軍人が強制連行したのか？
* 慰安所は、日本軍が韓国・日本の業者に依頼して設けられたもの、営業・運営主体はその業者であって、慰安婦の募集もその業者がやった。日本軍人が主体になって韓国人女性を連行するなどありえない。あったとしてもレアケース。
* 当時の韓国・日本の業者は募集広告を新聞にのせているので、自発的な応募もあったはず。
* つまり、韓国人業者は慰安婦問題に積極的に関与していた。この歴史事実を韓国人は認識すべき。
* 戸別訪問で女性を勧誘することもあった、業者と面長・里長等数人で戸別訪問していた。面長・里長等の協力があったから若い女性のいる家を業者は知ることができた。面長・里長等は積極的に協力したのではなかったかもしれないが、韓国人が関与したことは確か。
* 韓国人は、当時韓国人が「日本人」だった歴史を認識すべき(1910年日韓併合条約)。韓国人も、国家総動員体制のもとで帝国臣民としての思想教育をうけた歴史を認識すべき。面長・里長等が慰安婦募集に関与していたとしても、その責任は日本帝国という国家体制にある。
* 韓国人は、植民地時代の韓国人は一貫して日本に抵抗する韓国人でなければならないとの思いに取り付かれている。この「嘘」を信じることが「モラル」になっている。(これぞまさに歴史の歪曲)
* (2) 20万人の少女たちなのか？
* まず、少女たちについて。初期に慰安婦問題を論じた韓国人は、「挺身隊」を「慰安婦」と混同していた。挺身隊は国家総動員体制のもとで法令にもとづいて徴用された労働力(ちなみに、兵力の徴用は徴兵)。この労働力の徴用は学校単位でおこなわれた。だから、挺身隊は基本的に中学・高等学校の男子女子生徒。これが、慰安婦は「少女」という誤解を生んだ。
* 慰安婦募集の新聞広告には、「18歳以上30歳以内」「17歳以上23歳迄」と書いてある。それぞれ1944年7月・10月の新聞。日本は戦争末期に制海権を失ったため朝鮮での募集が多くなった。
* 慰安婦の平均年齢は米国政府の捕虜収容所での調査では、25歳とある。
* 元慰安婦の証言集の中に当時の慰安婦は、「大体20歳、21歳、一番上だと25歳、30歳が一番上だったね」とある。
* 上記三つの出所の異なるデータはほぼ符合しており、信ぴょう性がある。
* 確かにまったく少女がいなかったわけではない。証言集に出てくる14歳の少女は日本軍人に「親兄弟に会いたいだろうにどうやって来たのか」と聞かれたとのこと。14歳がレアケースだったからこそこの証言があり、人情味あふれる発言は鬼のような日本軍人のイメージと異なる。
* これらの少女が、強制連行されたのでないならば、それらの少女は、当時の韓国社会の家父長制と貧困の犠牲者だったのではないか。男尊女卑の思想が家族の中で少女を守ることができず、貧困が少女の身売りをやむなしとした。韓国人は家父長制と貧困が作った歴史を認識すべき
* 韓国人の被害者意識を満足させるためには、「少女」であることが重要。だから、慰安婦を題材にしたアニメや小説に出てくる慰安婦はみな少女。このイメージが定着して真実を受け付けない。
* 次に、20万人について。ソウル新聞によれば、朝鮮人慰安婦は5～7万人とのこと。千田は8万人と言っている。いったい20万人の根拠は何なのか？
* 徴用された朝鮮人**挺身隊**は20万人と言われている。当初韓国人は、挺身隊を慰安婦と誤解したため、この20万人を朝鮮人慰安婦の数と誤解したようだ。(少女像の裏に20万人と書いてある。)
* (3)奴隷状態にあったのか－無報酬で暴力による強制労働？
* 慰安婦に「毎日何人以上」とノルマを課していたとの証言あるが、これは業者が課したもの。
* 慰安婦の証言として、悪辣な韓国人業者について「なぶり殺しにしてやりたい」との思いを吐露しているものあり。
* 料金の「何割」かは慰安婦の取り分だった。中国人等を下女として雇う裕福な朝鮮人慰安婦もいた。前借金がある場合は、完済まではその「何割」が払われないことはあった。
* 慰安婦の取り分が少なすぎると、日本軍が介入して業者に賃上げを指導したケースもある。
* 休日には慰安婦は駐屯地にいって日本軍人と談笑したという楽しかった思い出を語る証言もある。
* 軍隊と伴に移動中の慰安婦が他の軍隊の日本兵士に強姦された事実はある。ただし、慰安婦に対する暴力行為も憲兵の取り締まり対象となっていて規律は保たれていた。
* 朝鮮人として侮蔑の言葉を投げつける兵士もいたが、兵士はあくまでも料金を払う客だった。
* 日本との慰安婦問題は、韓国側が慰安婦を単純化して理解している限り100年たっても解決できない。解決のためには、韓国側がさまざまな慰安婦がいたということを認めること。貧困のため身売り、自発的に応募、売春とは知らずだまされて応募した、その他さまざま。慰安婦の単純化は、多くの慰安婦の本当の声を歴史から消すことになる。どうであれ、彼女たちは日本帝国が起こした戦争の犠牲者である。責任は日本帝国という国家体制にある。
* 韓国が事実を無視して慰安婦問題の解決を日本に迫るのであれば、今後さまざまな矛盾が韓国を追い込んでいくことになる。10万人以上いた朝鮮人日本兵は慰安所を使わなかったのか、朝鮮戦争・ベトナム戦争で韓国軍用の慰安所があった、米軍基地周辺に慰安所がある、これらは問題ないというのか。

以上